

感染症サーベイランス・NESIDについての意見

平成 22 年 1 月 21 日

1. 定点報告及び全数報告をインターネット上で行えるようにできないか

背景及び理由)

現在のNESIDはLGWAN上でしかログインできず、LGWANのネットワークが存在する場所でないと入力できない。インターネットからの報告ができるようになると、医療機関での直接入力が可能となり、事務の効率化につながる。

2. 全数報告対象である感染症に複数罹患していることが明らかな場合の事務を効率化できないか。

背景及び理由)

新型インフルエンザと急性脳炎、HIV感染症とアメーバ赤痢、など重複して感染する方も多い。

発生届の項目には重複する箇所もあることから、医師の手間を省き、保健所の入力事務を効率化させる為、1つの発生届で複数の発生報告ができるようにならないか。

3. 他保健所で入力されており、ダブルカウントの可能性があるものは、「アラート」が出るような仕組みにはならないか

背景及び理由)

患者が県をまたいで、移動した場合など発生届がダブルカウントとなってしまう恐れがある。重複の可能性があるものについては、「要確認〇〇県〇〇保健所の届出と重複する可能性あり」等のアラートを出すことを考えてもよいのではないか。

4. NESIDのレスポンスが悪い時間帯がある（入力が重なる為？）システム側の要因であれば改善できないか。

背景及び理由)

月曜日など、入力が込み合う（と思われる）時間には、急激にNESIDの動きが遅くなり、事務の遅延に繋がっている。

5. NESID警報・注意報マップで、保健所管轄区域での塗り分けができないか。

背景及び理由)

NESIDでは、警報、注意報のマップ表示により、日本全国、各都道府県単位でのインフルエンザ等の感染拡大状況の把握が可能であるが（赤・・・警報、黄・・・注意報）、これを各県の保健所単位まで表示することができるようになればありがたい。